

令和7年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表 七尾市

都道府県名： 石川県

農業委員会名： 七尾市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和7年4月1日現在)

※ 「I 農業委員会の現況」については、別紙様式1の内容を転記

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和5年8月1日

任期満了年月日 令和8年7月31日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	19	19
認定農業者	—	8
認定農業者に準ずる者	—	5
女性	—	1
40代以下	—	0
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	22	20	5

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	1,830
農業経営体数	1,107

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	911
女性	276
40代以下	31

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	109
基本構想水準到達者	32
認定新規就農者	4
農業参入法人	35
集落営農経営	2
特定農業団体	0
集落営農組織	2

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	3,000	373	***	***	***	3,373

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の実施状況

七尾市

【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

※ 「現状及び課題」及び「目標」については、別紙様式1の内容を転記

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)		これまでの集積面積(B)		集積率(B)／(A)	
	3,373	ha	1,533	ha	45.4	%
課題	農業従事者の高齢化や担い手不足に加え、中山間地の農地だけではなく平地の農業条件の良い農地でも受け手が少なく、耕作放棄地が増えている。					

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	令和 8 年度	集積率	80.0	%	
今年度の新規集積面積	5	ha	農地面積(C)	3,373	ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	1,538	ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	45.6	%

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

③ 実績

今年度の新規集積面積	26	ha	農地面積(F)	3,120	ha
今年度末の集積面積(累計)(G)	1,456	ha	今年度末の集積率(H)=(G)／(F)	46.7	%
目標に対する達成状況(H)／(E)	102.3	%			

農業委員会の点検結果	地震の影響で耕作できない農地が多くあり、なかには大掛かりな復旧工事を要する農地もある。そのようななか、地域の状況を把握し、担い手や地域の多様な担い手が不足する地域では、地域外からの参入を促し、若手等で農業に関心がある者の育成と確保を図るなど、土地改良事業を要する地域では実現に向けて計画的に取り組む必要がある。
------------	---

※1 今年度の新規集積面積は、当該年中の集積面積(フロー)を記入

※2 今年度末の集積面積(累計)は、年度末時点の集積面積(ストック)を記入

(2) 遊休農地の発生防止・解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積		
		うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	74.0	38.0	36.0
	ha	ha	ha
中山間地やほ場整備区域外での農家の高齢化や担い手不足により、耕作地から遊休農地、遊休農地から荒廃地へと進んでいる。減反に作付け出来ない農地も遊休農地へと進んでいる。			

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	42.0	ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)	8.4	ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

6 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	6.4	ha	七尾市
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	石川県、県内各市町、農地中間管理機構と連携しながら基盤整備事業の実施等工程表策定の協議を行う。草刈り等による保全管理の推進。		

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	11.3	ha
---------------------------	------	----

③実績

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D)	0.0	ha
今年度の目標に対する達成状況(D)/(C)	0.0	%

b 黄区分の遊休農地の解消

黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況	未策定
-------------------------	-----

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積	0.0	ha
---------------------------	-----	----

④その他

農地の利用状況調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	令和7年10月～11月		令和7年12月	
	1号遊休農地の面積	61.8 ha	うち緑区分の遊休農地	51.6 ha
			うち黄区分の遊休農地	10.2 ha
農地の利用意向調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	令和8年1月		令和8年2月～3月	

農業委員会の点検結果	関係機関とさらに連携を深め、計画的に遊休農地の解消に向けて取り組む必要がある。 令和8年5月、能登でのトキ放鳥が開始される。生息環境の保持や拡大をめざし、休耕田を中心とした遊休農地では餌場となるよう常時湛水や湿地の状態での管理、耕作地では冬期の湛水を促すなど生息しやすい環境づくりに努める。
------------	--

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和3年度新規参入者		令和4年度新規参入者		令和5年度新規参入者	
	5	経営体	0	経営体	4	経営体
	6.31	ha	0	ha	1.18	ha
課題	・農産物の価格、農業所得が不安定等、担い手の経営不安。 ・担い手の法人化が進んでいる中、新たに農業を営もうとする個人の参入者が困難になってきている。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体に集積した農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均
	52 ha	101 ha	38 ha	64 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積(A)	6.4	ha		

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限り。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限り。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

③実績

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積(B)		0.0	ha	七尾市
公表URL		(その他の公表方法)		
目標に対する達成状況(B)/(A)		0.0	%	
(参考)新規参入者の参入状況		参入経営体数	0	経営体
		取得農地面積	0.0	ha

農業委員会の点検結果	若手等で農業に関心がある者の育成と確保を図る必要がある。
------------	------------------------------

※ 参入経営体数は、農地を取得して新たに農業に参入した経営体数を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	11	日／月	最適化活動を行う農業委員の人数	19	人
			農地利用最適化推進委員の人数	20	人

(2)活動強化月間の設定

①目標

活動強化月間の設定回数	3	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の内容
7月～8月	②遊休農地の解消	見回り活動の強化と発見した場合の所有者等への遊休農地の解消に向けた働きかけを実施する。
10月～12月	①農地の集積 ②遊休農地の解消	出し手と受け手の意向把握を積極的に行い、農地の集積、遊休農地の解消及び新規発生の予防につなげる。
1月	①農地の集積 ②遊休農地の解消	地域計画を地区ごとで見直しを図り、今後守るべき農地を誰が守るかの話し合いを行なうことで、農地の集積及び遊休農地の解消につなげる。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

②実績

活動強化月間の設定回数	2	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の結果
8月	②遊休農地の解消	遊休農地として判断した場合には、所有者等へ状況を確認し遊休農地の解消に向けて働きかけた。
12月	①農地の集積 ②遊休農地の解消	出し手、受け手の意向把握を行い、農地の集積、遊休農地の解消及び新規発生の予防につなげた。

※ 強化月間の結果欄は、強化月間中に行った具体的な取組の内容とその結果生じた効果等の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加

①目標

七尾市

新規参入相談会への参加回数	2回
---------------	----

開催時期	10月	相談会名	農林漁業就農さ相談会
参加者数	2	開催場所	ハローワーク七尾
相談会の内容	新規就農者相談会		
開催時期	12月	相談会名	いしかわ農林漁業就業合同面談会
参加者数	2	開催場所	石川県地場産業振興センター
相談会の内容	農林漁業新規就業等合同面談会		

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加する場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する

②実績

新規参入相談会への参加回数	0回
---------------	----

開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加した相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加した新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加した場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する(評価点欄は追加しない)

目標の達成状況の評語

目標に対して期待どおりの結果が得られた

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語を記入

【推進委員等の点検・評価結果】

評語	推進委員等の人数
目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	
目標に対し期待を上回る結果が得られた	
目標に対して期待どおりの結果が得られた	39
目標に対して期待を(やや)下回る結果となった	

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記入